

長岡技術科学大学 体育・保健センター 年報
平成19年度版（速報版）



平成20年4月15日 久しぶりの快晴 左手の建物が体育・保健センター

平成20年4月

長岡技術科学大学
体育・保健センター

長岡技術科学大学
体育・保健センター一年報
平成19年度版(速報版)

目 次

1. はじめに ——センター長挨拶
2. 管理報告
 保健部門
3. 資料

1. はじめに

体育・保健センター長 三宅 仁

長岡技術科学大学 体育・保健センター 年報 平成19年度版（速報版）をお届けします。昨年度版（速報版）もそうでしたが、平成19年度は終わったばかりですので、データとしてはまだほやほやのものです。したがって、まだ揃っていないものも多数ありますが、保健関係のもののみ、速報版でお届けいたします。後日、データを充実させた確定版を発行いたします。

データの一部は統計的使用を目的に得られたものでありますので、目的外使用はお断り致します。

平成17年度4月から保健師として勤務している 小番 美穂 さんがめでたく結婚され、大岡 美穂 さんとなりました。今後の活躍が期待されます。また、非常勤カウンセラーとして 高橋 純平 先生に1年間お願いしましたが、常勤の職に就かれるということで、4月から野村 智子 先生が来られることとなっています。学校医は変更ありません。担当事務員は学生支援課 丸山 博之 係長から 佐藤 由美子 係長となり、お世話になりました。引き続き佐藤係長にお世話になります。

健康診断の自動化がほぼ完成し、昨年度は前年に比べると30分程度の受診時間の短縮となってサービス向上を果たしています。他方、過重労働などの問題が次第に明瞭となってきており、衛生巡視や産業医面接など産業保健活動の重要性が増しています。

新型インフルエンザの大流行（パンデミック）が懸念される中、麻疹（はしか）が全国的に大流行し、本学でも休校措置を取らざるを得ない事態となりましたが、幸い2次感染もなく、終息致しました。その他、特記すべき保健関係の事項はありませんでした。

他方、三宅が平成19年度会長として全国大学メンタルヘルス研究会の世話を致し、成功裡に終わりました。（独）日本学生支援機構の皆様および小島学長をはじめとする本学関係者の皆様に御礼申し上げます。

平成20年度からは「高齢者の医療の確保に関する法律」に関連し、いわゆるメタボ対

策がスタートします。本学でも多大な影響が出ると思われませんが、教職員およびご家族など関係各位のご協力をお願い申し上げます。

学生諸君や教職員の皆様の健康増進のため、スタッフ一同、よりよい体育・保健センターを目指して努力する所存でありますので、さらなる御支援・御協力をお願いするものであります。

平成20年4月 満開の桜が咲く花曇りのキャンパスにて

2. 施設管理報告

➤ 保健管理関係

- センター玄関が自動ドアに変わりました。



Before

After



平成20年度体育・保健センター年間行事等予定

月	体 育 関 係		保 健 関 係	
4	上旬	屋外体育施設の使用開始	16,24	(放射線(X線)作業従事者の特別健康診断)
	下旬	屋内プール使用開始		
5	17	(春季球技大会)	14~16	定期健康診断
			13~31	定期健康診断受診者の再検査
			26,27,29	定期健康診断受診者の再診察
6	中旬	体育施設の使用割振り(夏期)	上旬	第14回AED講習会
7			8,9	第3学年入試(学力)救護
			下旬	第15回AED講習会
			31,1	全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会及び地方部会総会(独協大学)
8				
9	12~15	技大祭のため体育施設使用休止	5	(教職員の定期健康診断(生活習慣病検査))
			下旬	エイズ講演会
10			中旬	第16回AED講習会(防災訓練時)
			下旬	(放射線(X線)作業従事者の特別健康診断)
			下旬	(有害・VDT・運転業務従事者の特別健康診断)
			下旬	北関東・甲信越地区メンタルヘルス研究協議会
			29,30	第46回全国保健管理研究集会(京都大学)
11	上旬	体育施設の使用割振り(冬期)	中旬	体育・保健センター講演会
	中旬	屋外体育施設の冬準備(ネット降ろし等)	14	第1学年入試(推薦)救護
	30	屋内プール閉鎖	下旬	第17回AED講習会
12				
1			17,18	大学入試センター試験救護
			20,21	第30回全国メンタルヘルス研究会(東京都)
	下旬	体育・保健センター講習会		
2			25	第1学年入試(一般)救護
3			上旬	(有害・運転業務従事者の特別定期健康診断)
			中旬	(放射線(X線)作業従事者の特別健康診断)

()は体育・保健センターが直接関与しない行事

平成19年度定期健康診断実施状況

平成19年6月4日現在

実施日 平成19年5月9日(水)～11日(金)

受診者数

<全体>

分 種 別	区	対象者数	受診者数			
			聴打診等 (受診率)		X線撮影 (受診率)	
学生		2,334	1984	85.0	1976	84.7
教職員		406	160	39.4	159	39.2
合計		2,740	2144	78.2	2135	77.9

<在籍別>

分 種 別	区	対象者数	受診者数			
			聴打診等 (受診率)		X線撮影 (受診率)	
学 部	1	98	90	91.8	56	57.1
	2	132	84	63.6	85	64.4
	3	516	491	95.2	495	95.9
	4	527	466	88.4	471	89.4
	計	1273	1131	88.8	1107	87.0
修 士	1	423	406	96.0	413	97.6
	2	413	337	81.6	342	82.8
	計	836	743	88.9	755	90.3
博 士	1	47	31	66.0	32	68.1
	2	52	28	53.8	28	53.8
	3	84	46	54.8	51	60.7
	計	183	105	57.4	111	60.7
※ 専 門 職	1	16	0	0.0	0	0.0
	2	16	0	0.0	0	0.0
研究生・ 特別聴講生		10	6	60.0	6	60.0
合 計		2,334	1985	85.0	1976	84.7

※専門職課程計 全員が企業派遣者

平成19年度定期健康診断結果(学年別)

○内科診察の結果

学年	対象者数	受診者数	受診率	再診察			再診察の結果		
				要再診数	受診数	受診率	異常なし	経過観察	要精検数
B1	98	90	91.8	0					
B2	132	84	63.6	0					
B3	516	491	95.2	1	0	0	0	0	0
B4	527	466	88.4	2	2	100	2	0	0
M1	423	406	96.0	2	2	100	2	0	0
M2	413	337	81.6	1	1	100	1	0	0
D1	47	31	66.0	0					
D2	52	28	53.8	1	1	100	1	0	0
D3	84	46	54.8	0					
専門1	16	0	0.0	0					
専門2	16	0	0.0	0					
研究生	10	6	60	0					
計	2334	1985	85.0	7	6	85.7	6	0	0

○血圧測定の結果

学年	対象者数	受診者数	受診率	再検査			再検査の結果		
				要再検数	受検数	受検率	異常なし	経過観察	要精検数
B1	98	95	96.9	13	4	30.8	4	0	0
B2	132	85	64.4	19	17	89.5	17	0	0
B3	516	500	96.9	94	80	85.1	77	3	0
B4	527	470	89.2	108	98	90.7	96	2	0
M1	423	413	97.6	98	91	92.9	91	0	0
M2	413	347	84.0	84	73	86.9	71	2	0
D1	47	32	68.1	8	6	75.0	4	2	0
D2	52	29	55.8	6	6	100.0	6	0	0
D3	84	51	60.7	15	12	80.0	11	1	0
専門1	0	0	0.0						
専門2	0	0	0.0						
研究生	10	3	30.0	1	1	100.0	1	0	0
計	2302	2025	88.0	433	384	88.7	374	10	0

平成19年度定期健康診断結果(学年別)

○尿検査の結果

学年	対象者数	受診者数	受診率	再検査			再検査の結果		
				要再検数	受検数	受診率	異常なし	経過観察	要精検数
B1	98	92	93.9	9	6	66.7	5	1	0
B2	132	84	63.6	9	5	55.6	5	0	0
B3	516	495	95.9	47	43	91.5	39	4	0
B4	527	470	89.2	61	50	82.0	45	5	0
M1	423	412	97.4	52	47	90.4	46	1	0
M2	413	346	83.8	38	33	86.8	31	1	1
D1	47	32	68.1	8	6	75.0	6	0	0
D2	52	49	94.2	4	4	100.0	2	2	0
D3	84	3	3.6	8	5	62.5	5	0	0
専門1	0	0	0.0						
専門2	0	0	0.0						
研究生	10	3	30.0	1	0	0.0	0	0	0
計	2302	1986	86.3	237	199	84.0	184	14	1

○胸部X線間接撮影の結果

学年	対象者数	受検者数	受検率	有所見数	要精検数
B1	98	56	57.1	0	0
B2	132	85	64.4	0	0
B3	516	495	95.9	1	0
B4	527	471	89.4	1	1
M1	423	413	97.6	2	0
M2	413	342	82.8	2	2
D1	47	32	68.1	1	1
D2	52	28	53.8	1	1
D3	84	51	60.7	2	1
専門1	16	0	0		
専門2	16	0	0		
研究生	10	3	30	0	0
計	2334	1976	84.7	10	6

平成19年度定期健康診断結果(学年別)

平成19年度 定期健康診断要精検査者及び精検結果(学生)		
学 年	精検事項	精 検 結 果
B4	胸部X-P	異常なし
M2	胸部X-P	異常なし
M2	胸部X-P	陳旧性変化
D1	胸部X-P	小嚢胞(経過観察)
D2	胸部X-P	精密検査不要
D3	胸部X-P	左:気管支拡張症 右:陳旧性変化
M2	尿検査	慢性腎炎の疑い

平成19年度 定期健康診断要精検査者及び精検結果(教職員)		
所 属	精 検 事 項	精 検 結 果
電気系	胸部X-P	精密検査不要
学務課	胸部X-P	陳旧性変化

平成19年度定期健康診断結果 (学生・教職員)

平成19年6月4日現在

○内科診察の結果

	対象者数	受診者数	受診率	再診察			再診察の結果		
				要再診数	受診数	受診率	異常なし	経過観察	要精検数
学生	2,334	1984	85.0	7	6	85.7	6	0	0
教職員	406	160	39.4	0	0	0	0	0	0
計	2740	2144	78.2	7	6	85.7	6	0	0

○胸部X線間接撮影の結果

	対象者数	受診者数	受診率	有所見数	要精検数
学生	2334	2011	86.2	10	6
教職員	406	159	39.2	2	2
計	2740	2170	79.2	12	8

○血圧測定の結果

	対象者数	受診者数	受診率	再検査			再検査の結果		
				要再検数	受検数	受検率	異常なし	経過観察	要精検数
学生	2334	2025	86.8	433	384	88.7	374	10	0
教職員	406	165	40.6	66	40	60.6	31	9	0
計	2740	2190	79.9	499	424	85.0	405	19	0

○尿検査の結果

	対象者数	受診者数	受診率	再検査			再検査の結果		
				要再検数	受検数	受検率	異常なし	経過観察	要精検数
学生	2334	1986	85.1	237	199	84.0	184	15	0
教職員	406	156	38.4	28	22	78.6	20	2	1
計	2740	2142	78.2	265	221	83.4	204	17	1

平成19年度 体育・保健センター疾病者応急処置状況

長岡技術科学大学

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			合計			
	学生	職員	計	学生	職員	計	学生	職員	計	学生	職員	計	学生	職員	計	学生	職員	計	学生	職員	計	学生	職員	計	学生	職員	計	学生	職員	計	学生	職員	計	学生	職員	計				
(1) すり傷・切り傷・刺し傷等	10 (0)	0 (0)	10 (0)	9 (0)	0 (0)	9 (0)	9 (0)	0 (0)	9 (0)	6 (0)	0 (0)	6 (0)	8 (0)	0 (0)	8 (1)	9 (1)	0 (1)	9 (1)	4 (0)	0 (0)	4 (0)	5 (0)	1 (0)	6 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)		3 (0)	1 (0)		1 (0)	1 (0)		1 (0)	65 (1)	1 (1)	66 (1)	
(2) 打撲・捻挫・筋肉痛	6 (0)	2 (0)	8 (0)	19 (2)	0 (2)	19 (2)	7 (2)	0 (2)	7 (2)	13 (2)	2 (2)	15 (2)	1 (0)	0 (0)	1 (3)	14 (3)	0 (3)	14 (3)	3 (0)	0 (0)	3 (0)	5 (0)	0 (0)	5 (0)	5 (0)	1 (1)	6 (1)	3 (1)		3 (1)	8 (0)		8 (0)		1 (0)	1 (0)	84 (10)	6 (10)	90 (10)	
(3) 火傷	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	1 (0)	5 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	5 (0)	0 (0)	5 (0)	3 (0)	0 (0)	3 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)		2 (0)	1 (0)		1 (0)	17 (0)	2 (0)	19 (0)		
(4) 頭痛・感冒等	21 (1)	6 (1)	27 (1)	23 (1)	8 (1)	31 (1)	12 (2)	4 (2)	16 (2)	18 (3)	4 (3)	22 (3)	9 (0)	2 (0)	11 (0)	7 (0)	0 (0)	7 (0)	28 (3)	9 (3)	37 (3)	15 (2)	8 (2)	23 (2)	12 (3)	3 (3)	15 (3)	8 (2)	5 (2)	13 (2)	4 (6)	8 (6)	12 (6)	10 (1)	9 (1)	19 (1)	167 (24)	66 (24)	233 (24)	
(5) 腹痛・下痢等	9 (2)	3 (2)	12 (2)	10 (1)	2 (1)	12 (1)	8 (0)	1 (0)	9 (0)	11 (0)	0 (0)	11 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (1)	7 (1)	1 (1)	8 (1)	8 (0)	1 (0)	9 (0)	5 (0)	1 (0)	6 (0)	6 (2)	1 (2)	7 (2)	2 (0)	2 (0)	4 (0)	2 (1)	1 (1)	3 (0)		1 (0)	1 (0)	70 (7)	14 (7)	84 (7)	
(6) 歯・耳・鼻・咽頭に関する症状	18 (3)	3 (3)	21 (3)	20 (2)	4 (2)	24 (2)	14 (5)	5 (5)	19 (5)	16 (5)	3 (5)	19 (5)	5 (0)	1 (0)	6 (2)	11 (2)	2 (2)	13 (2)	25 (3)	7 (3)	32 (3)	14 (4)	4 (4)	18 (4)	4 (1)	0 (1)	4 (3)	4 (3)	4 (6)	4 (6)	8 (6)	5 (0)	1 (0)	6 (0)	8 (34)	6 (34)	14 (34)	144 (34)	40 (34)	184 (34)
(7) その他	9 (4)	3 (4)	12 (4)	13 (0)	3 (0)	16 (0)	21 (1)	2 (1)	23 (1)	17 (0)	4 (0)	21 (0)	2 (1)	0 (1)	2 (1)	4 (1)	0 (1)	4 (1)	9 (2)	3 (2)	12 (2)	4 (0)	0 (0)	4 (2)	9 (2)	1 (2)	10 (2)	7 (0)		7 (0)	5 (1)	1 (1)	6 (0)	2 (0)	2 (0)	4 (12)	19 (12)	121 (12)		
計	73 (10)	17 (10)	90 (10)	98 (6)	18 (6)	116 (6)	71 (10)	13 (10)	84 (10)	81 (10)	13 (10)	94 (10)	28 (1)	3 (1)	31 (1)	57 (8)	3 (8)	60 (8)	80 (8)	20 (8)	100 (8)	49 (6)	14 (6)	63 (6)	36 (8)	6 (8)	42 (8)	27 (6)	11 (6)	38 (6)	27 (14)	11 (14)	38 (14)	22 (1)	19 (1)	41 (1)	649 (88)	148 (88)	797 (88)	

()内は留学生を内数で示す。

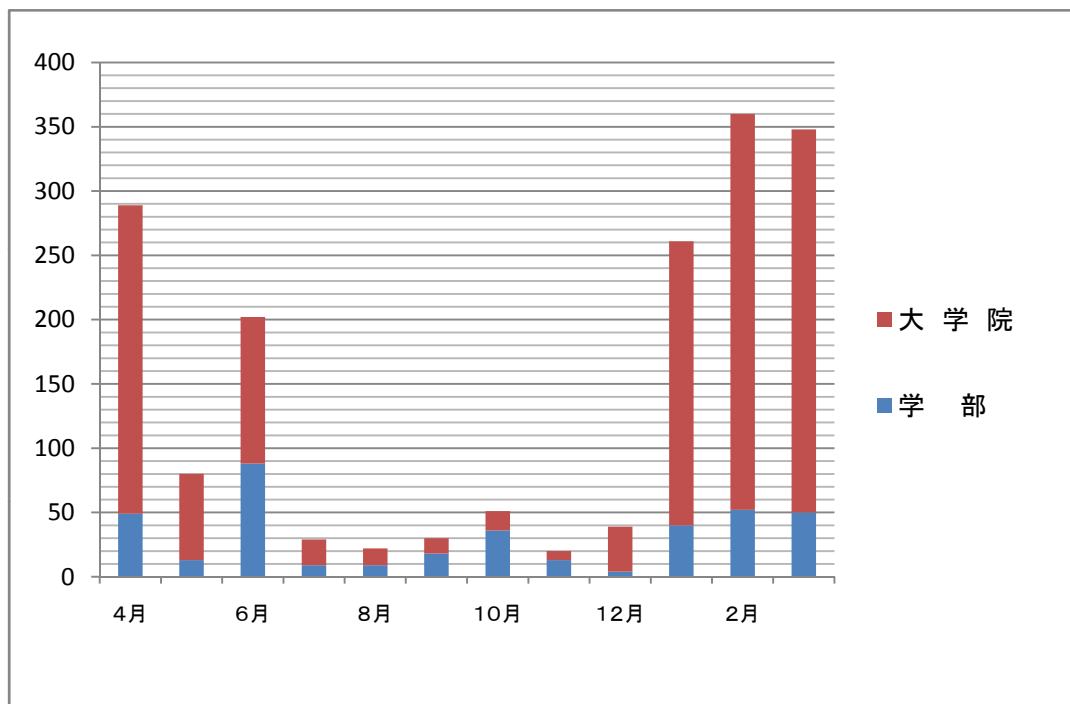
平成19年度健康相談者数

	学部生		大学院生		教職員	合 計	累 計
	日本人学生	留学生	日本人学生	留学生			
4月	2	1	2	1	0	6	6
5月	4	0	2	1	2	9	15
6月	6	0	4	0	3	13	28
7月	6	0	4	0	3	13	41
8月	1	0	0	0	0	1	42
9月	4	0	1	0	1	6	48
10月	1	1	1	0	1	4	52
11月	2	0	2	1	1	6	58
12月	1	1	1	1	1	5	63
1月	0	0	4	0	0	4	67
2月	2	0	2	0	1	5	72
3月	0	0	0	1	1	2	74
計	29	3	23	5	60	74	148

医療機関紹介数		
学部生	大学院生	教職員
1	0	0
0	0	0
0	0	0
0	0	0
0	0	0
0	0	0
0	0	0
0	0	0
0	1	0
0	1	1
0	0	1
1	2	2

平成19年度健康診断証明書発行数

月	学 部	大 学 院	合 計	累 計
4月	49	240	289	289
5月	13	67	80	369
6月	88	114	202	571
7月	9	20	29	600
8月	9	13	22	622
9月	18	12	30	652
10月	36	15	51	703
11月	13	7	20	723
12月	4	35	39	762
1月	40	221	261	1023
2月	52	308	360	1383
3月	50	298	348	1731
計	381	1350	1731	1731

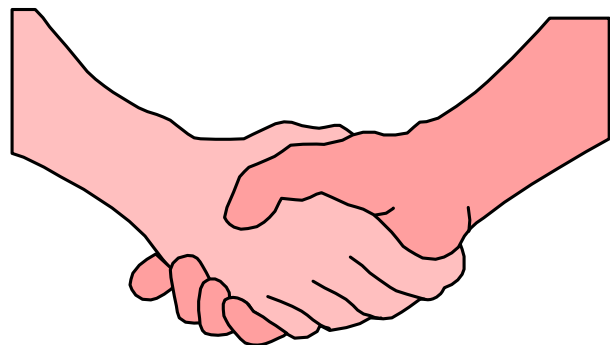


3. 資料

- センター案内
- 学生相談室案内
- 第29回全国大学メンタルヘルス研究会挨拶

3. 定期健康診断

- 定期健康診断は毎年5月に学校保健法に基づいて全学生を対象に行っています。(胸部X線撮影、内科診察、身体計測、血圧測定、尿検査等)
- なお、就職時または大学院進学時に必要な健康診断証明書は、この定期健康診断を受診していないと発行できませんので、全員必ず受診して下さい。



* 健康診断証明書の発行について

5月の定期健康診断を受けている場合、健康診断証明書を発行します。必要とする2日前までに体育・保健センターで申し込んで下さい。急いで必要な時はその旨申し出て下さい。

インターネット(メール)でも発行依頼できます。詳しくは体育・保健センターのホームページを見て下さい。

<http://www.melabq.nagaokaut.ac.jp/>

(本学のホームページからもリンクされています。)

健康診断では**学生証**が**受診に必要**

ですので忘れないようにして下さい。

体育・保健センタースタッフ

三宅 仁 教授、センター長 (保健管理担当、学校医、産業医、セクシャルハラスメント総括相談員、経営情報系生活福祉支援情報工学講座、9822) (マンガ左上)

塩野谷 明 助教授 (体育担当、経営情報系生活福祉支援情報工学講座、9823) (写真右上)

大岡 美穂 保健師(セクシャルハラスメント相談員 9824) (写真左下)

田村 正人 非常勤学校医 (長岡西病院院長)

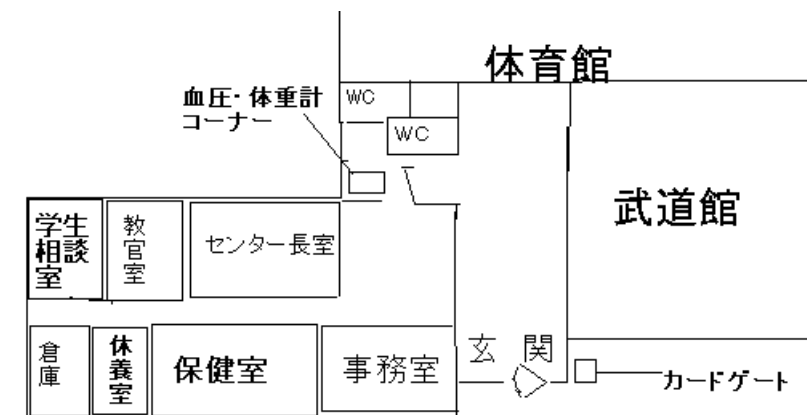
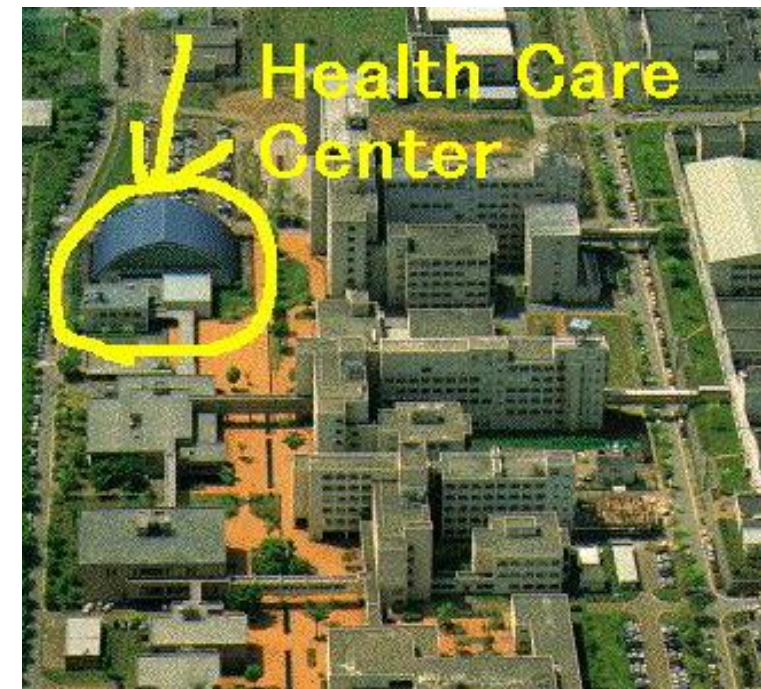
大橋 正和 非常勤学校医 (おおじま心療クリニック院長)

野村 智子 非常勤カウンセラー (セクシャルハラスメント相談員)



体育・保健センター案内

☆ 体育・保健センター



長岡技術科学大学 tel. 0258-46-6000
体育・保健センター tel. 0258-47-9821
e-mail: hcc@melabo.nagaokaut.ac.jp
<http://www.melabq.nagaokaut.ac.jp/>

体育・保健センターでは自ら健康であり体力を高めるため、諸々の体育施設を整えるとともに積極的にスポーツを奨励し、体育活動に関し指導、助言を行っています。

また、学生、教職員の健康管理のため、応急処置、健康診断、健康相談等の業務を行っています。

自ら積極的にスポーツや体力測定を行い、「健康や体力の重要性」を肌で感得し、また、正課体育で学習した成果を課外スポーツの発展に結びつけ、大学生活をさらに有意義なものにするとともに、スポーツを生涯にわたって実施する習慣を身につけましょう。

これらのために、大いに体育・保健センターを利用して下さい。

1. 施設の概要

- 体育施設 ……体育館、武道館、トレーニングルーム、屋内プール、陸上競技場、野球場、ラグビー場、テニスコート、多目的グラウンド、ゴルフ練習場、弓道場
- 保健施設 ……保健室、休養室、学生相談室

2. 体育・保健センターの利用

(1) 体育施設

あ)利用方法

団体(クラス、研究室単位等)で使いたい場合は、使用する3日前までに「体育施設(特別)使用許可願」を学生課に提出し、許可を受けて下さい。なお、団体で使用する体育用具も、使用する3日前までに願い出て下さい。

課外活動で定期的に使いたい場合は、4月及び11月に「体育施設使用計画書」を学生課に提出し許可を受けて下さい。

昼休み(12:30~13:00)は自由に使用できます(屋内プールを除く)。なお、体育用具を昼休み

時間等に一時使用する場合は、係員に申し出て下さい。

い)利用時間

○ 月曜日~金曜日 8:30~21:00

なお、課外活動のための体育施設の使用割当については、4月及び11月にセンターに掲示します。

う)休館日

- 日曜日及び土曜日
- 国民の祝日(日曜日に当たる時はその翌日)
- 年末年始(12月29日~1月3日)

なお、臨時休館及び開館・閉館の変更は、その都度センターに掲示します。

え)休館日の特別使用

課外活動及び体育活動で、特に休館日に体育施設を使用したい場合は、使用する3日前までに「体育施設(特別)使用許可願」を学生課に提出し、許可を受けて下さい。



(2) 保健施設

あ)保健室

学内での外傷、急病などの不慮の疾患に対して医師及び保健師が応急処置を行います。また、毎週水曜日の午後に医師による健康相談を行っています。診断並びに健康相談の結果、応急処置で治療できない外傷及び治療を要すると認められた場合には、専門の病院を紹介しています。(この場合の診療費は個人負担となりますので、保険証を持参して下さい。)

なお、時間外及び休館時におけるけがや病気で救急病院に行くまでに至らないものに対処するため、エネルギーセンターに「救急箱」を設置してあります。

また、各種健康器具(全自動身長体重計、全自動血圧計、体内脂肪計等)が備えてありますので、健康状態を知る参考にして下さい。

い)休養室

身体の不調などで休養をとりたいときは、ベッドが用意してありますので、利用してください。

う)学生相談室

学生生活における種々の相談場所として学生相談室があります。毎週水・金曜日は専門家によるカウンセリングに応じています。(学生相談室案内参照)また、定期の相談日以外でも可能な限り相談に応じますので、身体に異常が生じたり、悩みごとがあるときは、いつでも気軽に申し出て下さい。相談内容については秘密を守ります。

* 利用時間等について

- ◇ 健康相談 ……原則毎週水曜日
13:00~15:00(随時受け付けます)
- ◇ 精神衛生相談 ……毎週水曜日、金曜日
(要予約)
- ◇ 応急処置等 ……月~金曜日
8:30~17:15



◎ 学生相談室の役割

本学体育・保健センター内の『学生相談室』においては、学生の身体的な健康相談及び精神的な種々の悩みについての相談を受けています。

身体的な外部、内部にわたっての疾患、悩みはもちろんのこと、正課、研究、課外活動、その他学生生活全般にわたっての悩み事について常時相談を受けています。

現代の社会は、複雑多岐にわたっており、人間は悩み等を必ずもっています。このような社会において、本学の学生が少しでも悩みを解消できて、大学在学中の学生生活をより有意義におくっていくために日常活動しているのが体育・保健センターの『学生相談室』です。

『学生相談室』での相談内容については、プライバシーの保護を厳守し、秘密事項として取扱には万全を期して対応していますので、安心して利用してください。

個人のこと、友人・家族・その他の小さいことでもなんでも相談に応じます。



◎ 学生相談室の利用方法等

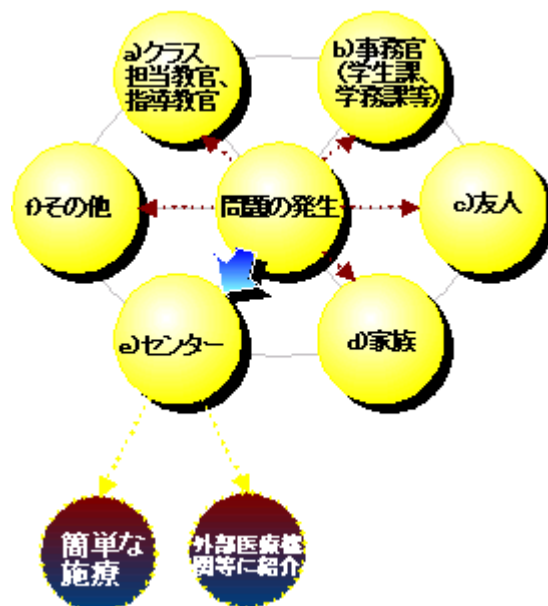
☆ 相談スタッフ	常勤の学校医	1名
	常勤の保健師	1名
	非常勤の医師（精神科医）	1名
	非常勤のカウンセラー	1名

☆ 相談日	平日（月曜日～金曜日）
	8時30分～17時00分

但し、祝祭日、年末年始の休業日は除きます。

非常勤のスタッフは、それぞれ週1～2回程度来学して学生相談に対応しています。相談は随時受け付けます。

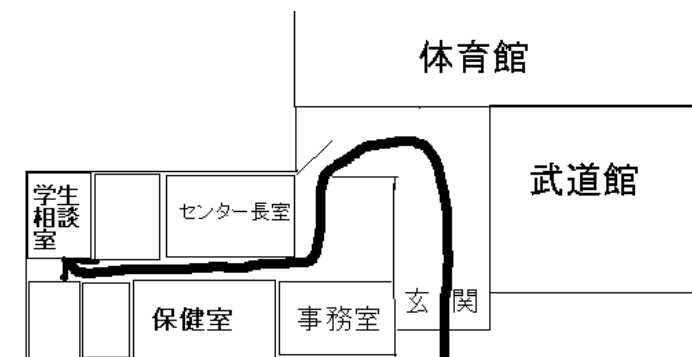
[学生相談の基本的体制図]



学生相談室案内

◎ 学生相談室

☆ 場所 体育・保健センター内



長岡技術科学大学 tel. 0258-46-6000
 体育・保健センター tel. 0258-47-9822
 e-mail:hcc@melabo.nagaokaut.ac.jp
 http://www.melabq.nagaokaut.ac.jp/

1. クラス担当教官等との関係

本学では、学部1年生～4年生についてはクラス担当教官が各課程毎に配属され、また、大学院生には研究室の指導教官がそれぞれ学生の種々の指導・相談に対応しています。

これらの教官は、学生諸君の勉学、教育、研究等の正課の指導に限らず、課外活動、その他学生生活全般にわたっての相談等も対応していただくように大学としての体制をとっています。

学生諸君は、小さなことでも各教官に遠慮なく相談し、自分だけで悩んだり、勝手に行動するような事のないように心掛けてください。

2. 友人等との関係

学生各自には、クラス・研究室・クラブ活動・その他種々の関連で必ず周囲に友達が存在していることとされます。

学生に限らず、人間は誰も悩み相談事は、必ず生活していくうえでは無くすことはできないものと思います。

よくあるケースとして自分で判断した結果が間違いとか、取り返しがつかない事となってしまうたり、また、問題点を過大化してしまったりしている場合等、気が付かない内に間違った解釈をし、判断・結論を出す場合もあると思います。

このような場合、取り返しのつかない事となってしまう場合もありますので、是非友達そして、研究室等の周囲の人達に相談してください。



3. 家族との関係

皆様には、必ず、家族・両親・兄弟（姉妹）・親戚等の家族がおられることと思います。家族は、他人とは違って皆様のことを、本当に気に掛けておられます。

大学生活は、家庭から離れて自立して生活するケースが多いと思います。

両親はじめ家族の方々には、日頃の生活状況等について連絡を取り合いお互いに現状を確認し合っておくことが大切なことと思います。



4. 学生支援課の業務内容について

学生支援課では学生相談に関する事務及び、次の事務を取り扱っていますので下記事項については、遠慮なく、学生支援課に相談に来てください。

- 1) 学生の厚生補導及び課外教育に関すること。
- 2) 学生及び学生団体の指導・助言に関すること。
- 3) 学生宿舎、国際交流会館及び課外活動施設の維持・管理に関すること。
- 4) 学生にたいする奨学金、授業料の免除、猶予及び経済援助に関すること。
- 5) 学生の福利厚生施設の管理運営及び厚生事業に関すること。
- 6) 学生に対する就職指導及び就職あっせん、アルバイトに関すること。
- 7) 学生旅客運賃割引証に関すること。

なお、修学に関する事務は学務課で取り扱っています。

以上のように大学生活における、勉学・課外活動・友人関係その他生活全般に係わる悩み事、相談などについては、学生諸君の周囲の教官、友人、家族等に相談をし、また、専門的に相談したい場合は、体育・保健センターにおいて、学生相談を常時受け付けていますので、気軽に相談してください。

体育・保健センターでは、専門のカウンセラー等も学校医として委嘱して相談に応じる体制をとっています。

是非、有効にこのような制度を利用してください。

また、各相談内容については絶対に秘密にし、プライバシーの保護については厳守しますので、安心して相談してください。

なお、学生支援課では担当事務に係わること及び相談も受け付けます。



挨拶

第29回全国大学メンタルヘルス研究会会長 長岡技術科学大学 三宅 仁

本日は170名を越える多数の皆様のご参集を頂き、合同フォーラムパート3として第29回全国大学メンタルヘルス研究会を開催できることを大変うれしく思います。

思い返せば平成13年の名古屋での本研究会の終了後だったと思いますが、前会長（当時は代表）の渡辺久雄先生（現愛知教育大学名誉教授）から6年後にこの会を主催してくれと頼まれました。6年先というのはちょっと自信がなかったのですが、有り難いお話なので引き受けることとしました。その頃はまだまだ駆け出しでして、メンタルヘルスの何たるかをよく理解しておりませんでした。現在でも精神科が専門でない小生にとっては、難しい診断用語やDSMIVなどはいまだ理解できていないのが正直なところです。他方、現実の健康相談、学生相談、カウンセリングの現場においてはそんなことは言うておられず、独法化以後の教職員自身の問題も含めて、ますますこの領域の重要性が増してきております。今回前年にも増して多くの方が参加頂いた背景には独法化というキーワードがあるものと思います。

さて、第29回のテーマは「——Quality of Campus Lifeの向上を目指して——」と致しました。英文としたことで、英語の演題申し込みもあり、国際性も出てきました。実はこのテーマは現研究会会長である影山東京工業大学教授から頂いたものですが、まことに時宜に適ったものと自負しております。無論、今回の研究会がその内容にふさわしいかどうかは参加者全員が形作っていくべきものであり、あるいは研究会終了後、各々が自分の大学・職場において、それを実践していくことが求められているものと思います。この意味において、本研究会に参加された方々の今後の御活躍に期待がかかるわけです。

さらには、前述のように昨今非常に悩ましい問題となっている産業精神保健分野、すなわち我々の同僚である教職員のメンタルヘルス分野が特に注目を浴びるようになってきています。これに関しましても、影山会長のご指示により、特別セッション「産業精神保健」を企画させて頂きました。セクシャルハラスメント裁判等でご活躍の川人博弁護士に特別講演を頂くことになっております。その直前の一般演題には教職員の問題が取り上げられております。

前後しましたが、本研究会のハイライトというべき教育講演には新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター長の中田力教授に「水分子の脳科学：意識と心の誕生」と題してお話頂くことになっており、ポジトロンCTなどを駆使した脳機能の最先端研究が伺えるものと期待しております。

症例研究は1題ですが、じっくりお話し頂くこととしており、さらに、一般演題8題、研究班、特別研究班報告のそれぞれ2題ずつのご発表があります。ここには上記の「産業精神保健」関連の話題の他、心理検査や性差の基礎的検討から、最も重要な自殺に結びつく若者心理の研究、あるいはその支援、さらには発達障害や学習障害などの近年にわかに注目を浴びるようになってきた問題など、まさに時宜を得た「Quality of Campus Lifeの向上」に欠かせない話題が発表・討論されます。また地道な調査研究である休退学研究班や特別研究班の文字通り特別な視点による研究も発表されます。どうか、活発な御議論をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本研究会を実施するにあたり、共同主催者である、独立行政法人 日本学生支援機構、特に学生支援事業課の皆様ならびに長岡技術科学大学の小島学長、丸山理事・副学長、学生支援課の皆様と並ならぬご協力を頂いたことを記して、お礼とさせていただきます。

長岡技術科学大学 体育・保健センター

年報 平成19年度版（速報版）

平成20年4月 発行（pdf版）

（C）2008 無断引用お断り

編集 体育・保健センター

連絡先 〒940-2188 長岡市上富岡町 1603-1

長岡技術科学大学 体育・保健センター

担当 三宅 miyake@melabo.nagaokaut.ac.jp

TEL 0258-47-9822 Fax 0258-47-9821